

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年12月28日

計画の名称	光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち(水の安全・安心基盤整備)		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	豊川市
計画の目標			

豊川市は、平成の大合併により宝飯4町と合併を行い18万都市となったが、旧市町間では、都市基盤整備に偏りがあり、合併後の全市域の均等発展と住環境の向上のため、下水道整備などの排水対策、河川整備、雨水管整備などの水防・浸水対策など基盤整備等が必要となっている。  
そこで、安全で安心して住める住環境の整備のため、下水道等の基盤整備を推進し、あわせて、河川整備や浸水対策事業等を推進し、「元気の出るまち」、「住みたくなるまち」豊川市を、市民と協働で目指すものである。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり(社会資本整備)に係る市民満足度を-1.1ポイント(H21末)から+7.3ポイント(H27末)に増加</li> <li>下水道整備率66.2%(H21末)を73.3%(H27末)に増加</li> <li>市内全域の汚濁物質排出量(BOD負荷量)1.51t(H21末)を1.18t(H27末)へ減少</li> </ul>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
市民意識調査の排水対策、河川の状況などの社会資本整備に係る項目において、「非常に重要」、「やや重要」、「さほど重要でない」「重要でない」と回答した人数と、「満足」、「まあ満足」、「やや不満」「不満」と回答した人数をポイント換算し、その総計値を指標値とする。	-1.1ポイント	+4.5ポイント	+7.3ポイント							
下水道整備率=下水道整備面積(㎡)÷下水道全体計画区域面積(㎡)	66.2%	71.4%	73.3%							
市内全域の汚濁物質排出量(BOD負荷量)を集計する。	1.51t	1.24t	1.18t							
全体事業費(計画)	合計 (A+B+C)	7,435 百万円	A	7,209 百万円	B	0 百万円	C	226 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	3.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 ・平成28年11月 公表の方法 ・都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。
・関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	上段(計画) <span style="background-color: black; color: black;">██████████</span> 下段(実施) <span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>
--------	--

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1	下水道	一般	豊川市	直接	豊川市	汚水	新設	大崎北部地区始め26地区(未普及解消)	L=73,000m φ150~φ700	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	5,585 4,484					
A1-2	下水道	一般	豊川市	直接	豊川市	雨水	新設	大崎北部地区始め14地区(浸水対策)	L=3,900m φ600~□3,800×1,300	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	1,192 1,108					
A1-3	下水道	一般	豊川市	直接	豊川市	雨水	改築	平井ポンプ場(浸水対策)	平井ポンプ場機械設備・電気設備更新 一式	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	336 177					
A1-5	下水道	一般	豊川市	直接	豊川市	雨水	改築	平井ポンプ場(地震対策)	平井ポンプ場補機・補機耐震補強 L=27.5m □2,750×2,700	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	82 42	総合地震対策				
A1-6	下水道	一般	豊川市	間接	民間	雨水	-	雨水貯留施設補助、浄化槽転用補助、雨水浸透機補助	雨水貯留施設 120基、浄化槽転用 100基、雨水浸透機200基	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	14 3	新世代				
小計(下水道事業)											7,209 5,814						

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計											0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C1-1	下水道	一般	豊川市	直接	豊川市	新設	大崎北部地区始め17地区末端管渠	L=4,800m φ150~φ200	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	206 203					
C1-2	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市	新設	安全・安心事業	水位監視装置、水位監視カメラ設置等	豊川市	<span style="background-color: red; color: black;">██████████</span>	20 9					
合計											226 212					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C1-1	基幹事業である管渠と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、整備地区の下水道の普及促進を効率的に行うことができる。	
C1-2	浸水対策事業のソフト対策として、水位情報をインターネット上に公開することで、住民の防災意識の向上と災害時において適切な対応を促すことができ、浸水被害の軽減を図り、安全で安心して住める住環境の整備を行うことができる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水管及び雨水管の新設及び下水ポンプ場の設備更新により、下水道の普及が進み、社会資本整備に関する市民満足度の向上につながった。</li> <li>汚水管及び雨水管の新設により、下水道整備面積が拡大し、市内の下水道整備率の向上につながった。</li> <li>下水道の整備により浄化槽からの転用が進み、汚濁物質排出量（BOD量）の削減につながった。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（社会資本等に係る市民満足度）	最終目標値	+7.3ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	下水道の整備が進み、汚水管及び雨水管の新設及び、下水ポンプ場の設備更新により、社会資本に関する市民満足度が向上したものの、目標値には及ばなかった。
		最終実績値	+2.3ポイント		
	指標②（下水道整備率）	最終目標値	73.3%	目標値と実績値に差が出た要因	汚水管や雨水管の新設により、下水道整備面積が拡大し、下水道整備率の向上につながった。またこれに伴って下水道処理区域内人口も増加した。
		最終実績値	74.0%		
	指標③（市内全域の汚濁物質排出量（BOD負荷量））	最終目標値	1.18 t	目標値と実績値に差が出た要因	下水道の整備により、浄化槽からの転用が進み、主に単独浄化槽から排出される汚濁物質の大幅な削減につながった。
		最終実績値	1.08t		
II-2 その他の数値指標 （設定した定量的指標以外の指標）による効果発現状況	その他指標① （生活排水対策における市民満足度）	従前値	60.2 % (H23当初)	効果発現要因	下水道の整備が進み、市民意識調査のうち「生活排水対策」に対する満足度について「満足」「まあ満足」と答えた人の割合が増加し、市民の満足度の向上につながった。
		実績値	62.9 % (H27末)		
	その他指標② （下水道普及率）	従前値	71.2 % (H23当初)	効果発現要因	下水道の整備が進み、市内全人口に占める下水道処理区域内人口の増加につながり、より多くの市民が下水道環境の整った生活を送れるようになった。
		実績値	77.4 % (H27末)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>未整備地区において今後も下水道整備を図り、更なる普及に努めることで、整備率を高め、下水道処理区域内人口の向上を目指す。</li> <li>今後も下水道の普及を進めることで住環境の改善を図り、暮らしに関する市民の安全・安心を高め、「住みたくなるまち」の創出を目指す。</li> <li>下水道の整備やポンプ場の整備を行うことで、汚濁物質の排出量の削減を目指し、河川環境の改善につなげ「元気のでるまち」、「住みたくなるまち」の創出を目指す。</li> </ul>					